

大阪府立豊中高等学校 学校運営協議会 議事録

校名	府立豊中高等学校
校長名	湯峯 郁子

開催日時	令和 7年 6月 25日(水) 15:30~17:00
開催場所	大阪府立豊中高等学校 校長室
出席者(委員)	木原俊行委員、後藤崇志委員 川村健市委員、直海知子委員、曾根岳史委員
出席者(学校)	湯峯郁子校長、前田耕平教頭、橋本知幸事務長 志方洋介首席、岡田大樹教諭
傍聴者	無し
協議資料	令和6年度 学校経営計画及び学校評価 令和7年度 学校経営計画及び学校評価 進路資料 新分掌資料 入学時アンケート資料
備考	

議題等(次第順)

- 1 校長挨拶
- 2 委員紹介及び事務局・出席者紹介
- 3 会長選任
- 4 会長挨拶
- 5 報告及び協議
 - (1) 令和6年度学校評価及び令和7年度学校経営計画について(報告)
 - (2) 77期生進路結果について(報告)
 - (3) 今年度取組みの進捗状況について(報告)
 - (4) その他
- 6 提言
- 7 事務連絡

協議内容・承認事項等(意見の概要)

<令和6年度学校評価及び令和7年度学校経営計画について協議>

(委員)令和7年度の「めざす学校像」の校訓と二つの項目の中で特に重点を置いて大事にしている、伸ばしていくべき点があれば。
(回答)本校が掲げている「グラデュエーション・ポリシー」が育成をめざす方針である、またGLHSで育成されるべき力として①幅広い教養と高い専門性、②高い志(社会貢献)と豊かな人間性、③英語運用能力、の3点があげられており、このあたりも意識している。
(委員)個別最適な学びなども言われるが、文系・理系なども分かれる中、特定の教科科目が苦手な生徒が活躍できる場はあるか。もう一步頑張りたいという生徒へのサポートはあるか。

(回答)本校は2年生から文系理系が分かれるが、文系的・理系的な取組みにどちらの生徒も参加するなど、文理横断的にやっている。共通テストの6教科8科目を受験する生徒は9割近く、質問の機会を設けるなど、すべてに取り組めるよう、日ごろから工夫をしている。

(委員)数値目標について、数値を上げようとすると実績を求めるが、実績にどう至るかが大切かと思う。GLHSの目標についても、プロセスを評価する項目もあり、プロセスについてもより充実できるようになっていると感じた。

<77期生進路結果について>

(委員)合格者の数値は載っているが、生徒本人としては、希望した大学に行けたのかについてどう見るか。

(回答)学校教育自己診断の結果では、進路について理解し納得している生徒が多い。自分が納得して決めなければならない、という指導は、学校全体で意識して行っている。

(委員)浪人生の数が減っている印象である。現役進学を臨む生徒が多いか。

(回答)進学先に私学を選択する生徒は増えている。全体的な傾向のように見ている。

<今年度取組みの進捗状況について>

(委員)働き方改革の視点から見て、分掌を新しく作ることによって業務は効率化していくことになると考えるか。

(回答)今年度の行事やイベントの周知・募集等について、業務を整理することで、来年度に向けてスリム化をめざしている。

<その他>

80期生新入生アンケートや選抜における学校特色枠の設定について意見が交わされた。

<提言>

(委員)生徒は高校生として学び、友達を作ることを望んでおり、学校はそれに合う学びを提供できる状態にあり、その活性化のために校長が組織改編に取り組んでいるのを肯定的・前向きに評価したい。

次回の会議日程

日時	令和7年 11月5日(水) 午後
会場	大阪府立豊中高等学校 校長室